

技術の活用と若手社員の力により、鋼材のスペシャリストとして顧客ニーズに対応

1913年の創業以来、100年の信頼を礎に、鋼材のスペシャリストとして商社とメーカーの2つの機能を両輪に産業界のあらゆるニーズに対応している。鉄鋼販売では、幅広い鋼材を必要なサイズに加工して提供している。メーカーとしては、ベンダー、プレス、溶接技術を軸とした二輪車・四輪車の関連部品や、独自のロール成型技術を生かしたスチール梱包ケース等の製造販売を行っている。米国のアトランタとベトナムのハノイ近郊に製造拠点を置き、海外展開も進めている。

- | | | | |
|----------|---|--------|---------|
| ● 所在地 | 静岡県浜松市南区大柳町727番地 | ● 設立 | 1913年 |
| ● 電話/FAX | 053-427-0111/053-427-0132 | ● 資本金 | 3,520万円 |
| ● URL | http://suzukaku.co.jp/ | ● 従業員数 | 183人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 鈴木 格徳 | | |



先端技術と手作り技術の合わせ技で高価値を適正価格で提供

軽量・高機能なアルミテーパーハンドルの一貫加工ラインの構築では、中核設備に思い切った先端技術を投入する。一方で、穴開けや切断等の周辺設備は、社員の手作りに近い設備を使用する等、メリハリの利いた合わせ技で、製造リードタイムの半減やコスト低減を実現した。

例えば中核設備の一つであるベンダー加工機では、ベンダー自身に独自の解析用回路を設けて、材料や形状に合わせた最適曲げ条件を、従来の職人技よりも短時間に、より精密に設定できるようにした。



先端技術と手作り技術の一貫加工ライン

ベンダーと非接触3次元形状測定機の連携でミニIoT化

高強度アルミニウムの加工では、ロット内やロット間の硬度ばらつきによるスプリングバック量の変動に注意する必要がある。加工後の製品を姿ゲージでチェックして、曲げ条件を微調整していく従来のやり方は、業務効率の悪化を招いていた。一貫加工ラインでは、全電動型のベンダーと非接触の3次元形状測定機をLANに接続することで、加工物を形状測定機に置くだけで自動計測して補正值を計算するとともに、LANを通じてベンダーに信号を送り、設定値を自動補正する仕組みをベンダーメーカーと共同で構築した。



ベンダーと非接触3次元形状測定機の連携

積極的な若手社員の活用で新分野に切り込む

当社ではサポイン活動が社内の活性化ツールとして大いに機能している。チャレンジングなテーマを掲げ、新たな知見を得るために未経験の分野に切り込んで行く社風を作ることで、知的好奇心を刺激された若手社員が頑張り、ベテラン社員が支える姿が日常的に見られるようになった。また、簡単な設備は自分たちで作る機運が出てきたことも、多方面で良い効果をもたらしている。更に、大学や川下企業とのやり取りが増え、サポインが若手人材育成器となった。



社員同士で学びあい・教えあい切磋琢磨